

浦幌町立博物館だより

2022(令和4)年10月号



編集・発行：浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎015-576-2009 / ✉info@museum-urahoro.jp

博物館が支援している大学生たち



図1. 野生動物の実習(酪農学園大)



図2. 博物館実習(帯畜大・琉球大)



図3. 地理学巡検(奈良女子大)

この夏訪れた学生たち

浦幌町立博物館には、毎年全国の大学から、実習、集中講義、調査研究など、さまざまな目的をもった大学生たちが、博物館を訪れます。

図1は、毎年町内で実施されている酪農学園大学の野生動物保全技術学実習。浦幌の自然環境を使って、山の

歩き方や生物調査の基礎を学びます。

図2は、学芸員の資格を得るための博物館実習での発表会。今年は帯広畜産大学と琉球大学から実習生を受け入れました。

図3は、地理学巡検で町を訪れた奈良女子大学の学生。十勝坊主を中心に、十勝や釧路の地形を案内しました。

浦幌をフィールドにヒグマと

社会の関係について研究する北海道大学の大学院生には、上浦幌中央小学校でヒグマの授業をしてもらいました(図4)。

浦幌の特徴ある多様な自然環境や文化歴史的な背景が、大学生たちに学びのフィールドを与えているのです。博物館はそうした大学生をこれからも支援し、地域の学術拠点であろうと努めています。

(浦幌町立博物館学芸員 持田誠)



図4. 中央小でのヒグマの授業(北海道大)

「博物館の収蔵資料から

こんな資料を集めています!

厚内電化記念の鉄瓶



1964(昭和39)年、厚内地区の電化が完了したことを記念して制作された鉄瓶です。

浦幌では、ほかにもさまざまな場面で記念品として鉄瓶が作られており、いくつかは博物館でも収蔵しています。

この鉄瓶は、今年の9月に、音更町在住の田畑洋美様から寄贈いただきました。町の発展を記念する大事な資料として保存活用して参ります。

(浦幌町立博物館学芸員 持田誠)

Pick up BOOK [注目の本]

図書館から

『みすゞ詩画集 茜』

画：殿村栄一 詩：金子みすゞ

2000年12月1日 春陽堂書店発行



「こだまでしょうか、いいえ誰でも」、「みんなちがってみんないい」、一度は聞いたことがある方もいらっしゃるかもしれません。

この言葉は、その短い生涯の中で多くの詩を残した詩人、金子みすゞ氏の詩の一文です。

本著は金子みすゞ氏の詩が殿村栄一氏の柔らかな絵と共に綴られている詩画集です。

可愛らしく、時として哀愁を感じさせる金子みすゞの詩の世界に触れてみてはいかがでしょうか?

【配架場所】

一般書・文学

分類記号 911.5カ

(浦幌町立図書館 司書 部田麻紗乃)



10月の博物館お知らせ

お知らせとお詫び

4月1日より、職員数が減少となったため、土日祝日の展示室への職員配置ができない場合があります。また、電話がなかなかつながりにくいこともあります。職員不在の際は、となりの図書館カウンターへご伝言ください。ご迷惑をおかけいたしましたして申し訳ありません。

企画展

北村薫写真展 まちはアルバム

10月10日(月・祝)

11月5日(土)

10:00~18:00

場所:博物館特別展示ホール

釧路市音別町で、生まれ育った町の変化を写し続けてきた写真家、北村薫氏の写真展。

写真が持つ記録性と芸術性を感じられる作品の数々をご紹介します。

来年の音別~浦幌鉄道開業120年を前に、お隣のまち「音別」を写真でみつめてみます。



夜学講座

実は自然の少ない十勝・浦幌から、生物多様性を考えよう

日時: 10月13日(木) 19:00~20:00

場所: 浦幌町立博物館

講師: 持田誠(当館学芸員)

※申込不要・参加無料



ふるさと探訪

列車で学ぶ地理・歴史

10月22日(土)

11:00集合

17:30解散

※浦幌駅

参加費: 750円

(片道乗車券)

定員: 20名

申し込みが必要

浦幌から音別まで列車を利用。帰りはバスを利用。車窓から、白糠丘陵一帯の歴史と地理を学びます。

【見学ルート】

浦幌駅(集合) → 列車で音別まで乗車 → 音別駅 → バスに乗り換え → 音別町ふれあい図書館郷土資料展示室 → おんぼーと → 尺別鉄道跡 → 旧尺別駅前 → 旧直別駅前 → 厚内駅 → 旧鉄道予定ルート → 昆布刈石 → 十勝太 → 新吉野駅 → 道の駅うらほろ → 浦幌駅(下車可能) → 浦幌町立博物館(解散)



図書館まつり

Art Van 福寿走 君のまちに美術館が届くってよ。

10月16日(日)

11:00~16:00ころ

場所: 浦幌町立図書館前駐車場

※申込不要・参加無料



豊頃町十弗で個人美術館Art Labo 北舟を開設している白濱雅也・真紀夫妻が、軽トラックの荷台に作品を載せた美術館を開設。図書館まつりにあわせて、1日、図書館前の駐車場で小さな美術館を開館します!

協力: Art Labo 北舟 白濱雅也

入館料: 無料

開館時間: 10:00 ~ 18:00

バリアフリートイレ完備
車いす常備

多言語化表記には未対応

学芸員: 1名配置

展示解説の申込み、レファレンス、資料調査等は事前に電話かメールにてお申し込みください。

10月 休館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

休館日: 月曜日・祝日の翌日

28日(金)は資料整理日で休館です。



JR根室本線浦幌駅下車徒歩8分
帯広駅より普通列車...約1時間
池田駅より普通列車...約30分
釧路駅より普通列車...約2時間

鉄道のご利用が便利です!

【運賃】

帯広~浦幌間 1290円(片道)
釧路~浦幌間 1680円(片道)



駐車場無料

帯広市より国道38号線約1時間
釧路市より国道38号線約1時間半
道東自動車道浦幌ICより約50分



浦幌町立博物館
The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ: 電話 015-576-2009

〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 (図書館併設・役場となり)

E-mail: info@museum-urahoro.jp / https://museum-urahoro.jp